

スカパーJSATグループ 2017年度第1四半期決算説明会

2017年8月3日(木)

株式会社スカパーJSATホールディングス

将来の見通しに関する記述について

本説明資料に掲載されている予想、戦略、経営方針、目標等のうち、歴史的事実でないものは、将来の見通しに関する記述であり、現在入手可能な情報にもとづく経営者の前提、計画、期待、判断などを基礎としています。これらの将来の見通しに関する記述は、様々なリスクや不確定要因の影響を受けるため、現実の結果が想定から著しく異なる可能性があります。このようなリスクや不確定要因のうち、現在想定しうる主要なものには、以下のようなものが含まれます。

なお、リスクや不確定要因はこれらに限られるものではありませんのでご留意下さい。

《経営全般に関するリスク》

- 当社グループの事業に係わる法的規制等による事業の制約のリスク
- 顧客情報のセキュリティ及び顧客情報管理システムの障害に関するリスク
- 大規模災害による重大設備障害に関するリスク

《衛星インフラに関するリスク》

- 通信衛星の機能不全や運用能力低下に関するリスク
- 通信衛星調達に関するリスク
- 衛星への保険付保に関するリスク

《有料多チャンネル放送プラットフォームサービスに関するリスク》

- 加入者獲得、維持に関するリスク
- 放送事業者に関するリスク
- システムに関するリスク
- ICカードのセキュリティ等に関するリスク

第1 四半期連結決算概要

損益概要

- メディア事業の累計加入件数の減少及び宇宙・衛星事業の減価償却費の増加等により、前年同四半期比、減収減益。

(単位: 百万円)

	2016年度 1Q	2017年度 1Q	増減率	通期予想 進捗率	FY2017 通期予想
営業収益	39,707	37,195	△6.3%	24.2%	153,500
営業利益	6,266	4,334	△30.8%	25.6%	17,000
経常利益	6,285	4,535	△27.8%	25.9%	17,500
親会社株主に帰属する 四半期純利益	4,284	2,941	△31.3%	25.6%	11,500
EBITDA ^{*1}	11,700	10,942	△6.5%	24.9%	44,000

*1. EBITDA = 当期純利益 + 税金費用 + 減価償却費 + のれん償却費 + 支払利息

セグメント別連結業績の推移(2016年度 1Q ~ 2017年度 1Q)

■ メディア事業、宇宙・衛星事業ともに対前年同四半期比 減収減益

(単位:百万円)

	2016年度					2017年度
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q
営業収益	39,707	39,610	38,806	74,750	192,875	37,195
メディア事業	30,095	29,882	29,130	27,668	116,777	27,424
宇宙・衛星事業	12,626	12,718	12,580	49,822	87,748	12,524
消去又は全社	△3,013	△2,990	△2,905	△2,740	△11,650	△2,754
営業利益	6,266	4,795	4,468	8,903	24,433	4,334
メディア事業	1,861	1,023	1,135	551	4,571	1,005
宇宙・衛星事業	4,585	3,937	3,488	8,515	20,527	3,531
消去又は全社	△180	△165	△155	△164	△665	△202

2017年7月よりセグメント名称を「有料多チャンネル事業」から、「メディア事業」に変更いたしました。セグメント別の業績に与える影響はございません。

メディア事業の主要指標（＊）

	2016年度 1Q累計	2017年度 1Q累計	2017年度目標値
新規加入件数(万件)	8.6	8.4	39.0
純増数(万件)	△0.9	△0.6	1.0
累計加入件数(万件)	347.3	331.4	333.0
加入者月額支払単価(¥)	3,331	3,247	-
ARPU(¥)	2,164	2,063	-
SAC単価(¥)	37,790	37,934	-

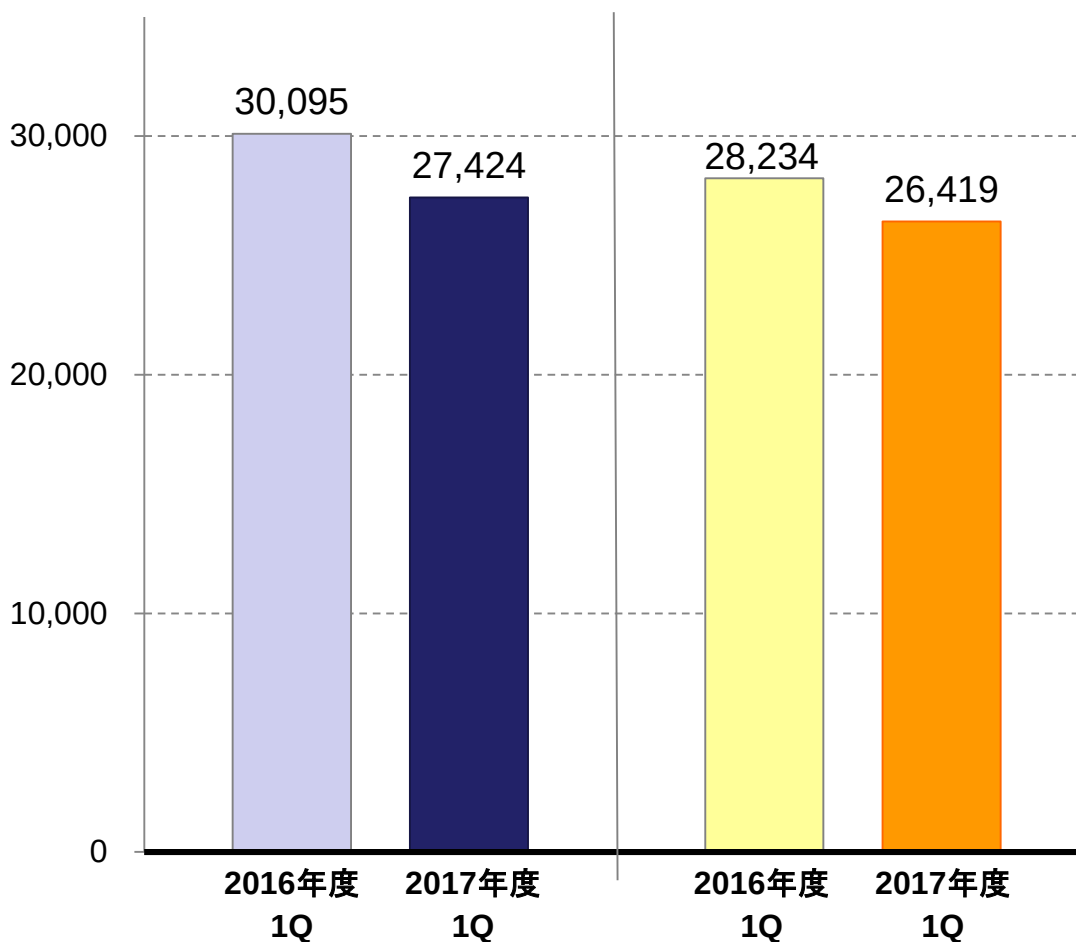
＊スカパー！、スカパー！プレミアムサービス、スカパー！プレミアムサービス光の合計値

メディア事業の業績概況：前年同四半期比

(単位：百万円)

営業収益

営業費用



営業収益(▲26.7億円)*

<主な増減要因>

* セグメント間内部取引を含む。

- サッカー関連コンテンツ収入の減少：△17億円
- その他視聴料収入の減少：△7億円
- その他収入の減少：△3億円

営業費用(▲18.1億円)*

<主な増減要因>

* セグメント間内部取引を含む。

- サッカー関連コンテンツ費用の減少：△18億円
- 番組供給料の減少：△4億円
- その他費用の増加：+4億円

宇宙・衛星事業の業績概況：前年同四半期比

営業収益(▲1.0億円)*

<主な増減要因>

* セグメント間内部取引を含む。

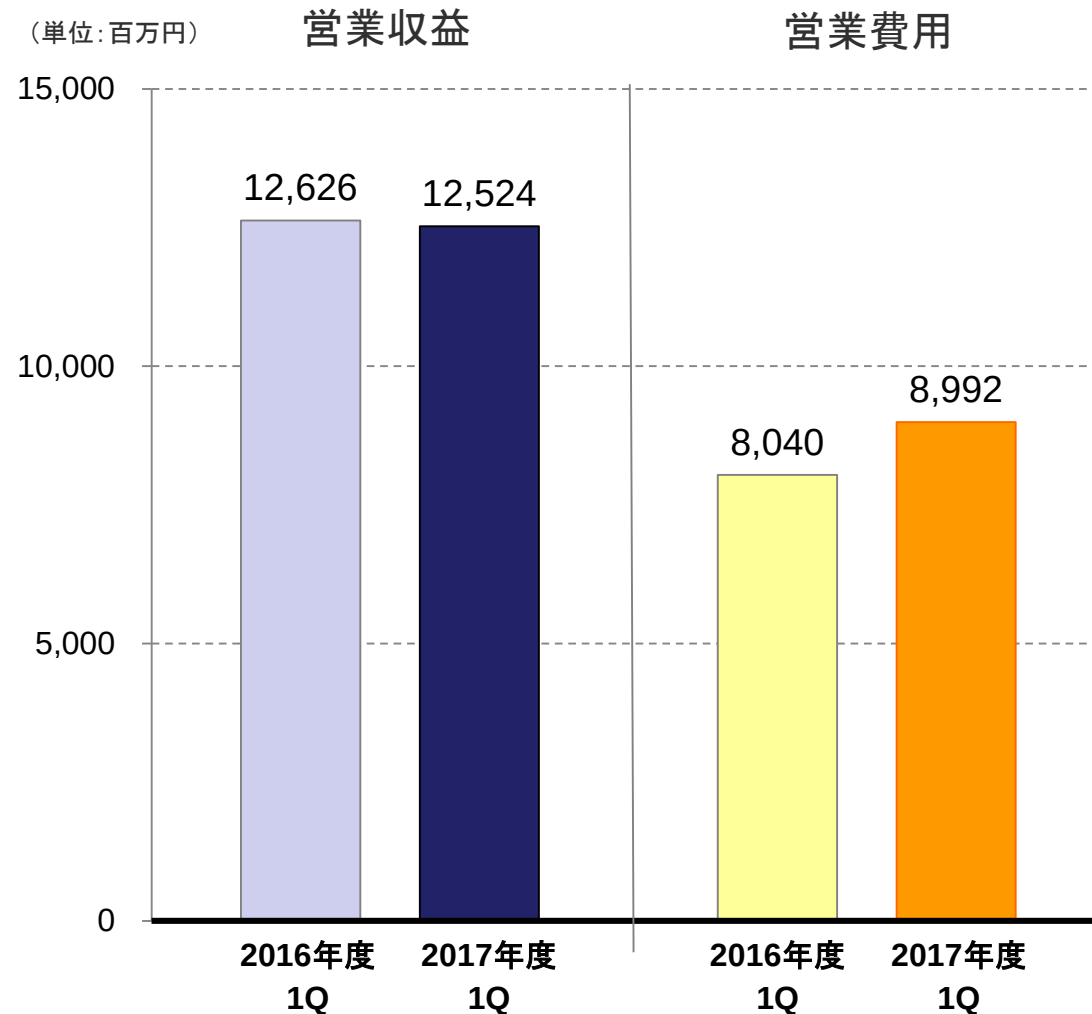
- 放送トランスポンダ収入の減少：△2億円
- その他収入の増加：+1億円

営業費用(+9.5億円)*

<主な増減要因>

* セグメント間内部取引を含む。

- 衛星減価償却費の増加：+8億円
- 衛星事業原価等の増加：+2億円



今後の取り組み
～メディア事業～

コンテンツの差別化①

■海外サッカー（17/18シーズン順次開幕）

独占生中継



9/12(火) 開幕

『UEFAチャンピオンズリーグ 17/18』全125試合



9/14(木) 開幕

『UEFAヨーロッパリーグ 17/18』注目試合



8/8(火)深3:30～ 前シーズンの上記各リーグ王者が対戦

『UEFAスーパーカップ レアルマドリッド×マンチェスターユナイテッド』



8/19(土) 開幕

『17/18 イタリア セリエA』

毎節4試合生中継



8/12(土) 開幕

『17/18 イングランド プレミアリーグ』

J SPORTSで注目試合を毎節5試合放送



『メキシコ リーガMX 17/18』

本田圭佑選手所属クラブ「パチューカ」
ホームゲーム全試合&アウェーゲーム一部試合を
フジテレビONE/TWO/NEXTで放送決定



『ドイツ ブンデスリーガ』

2018/19以降2シーズンの独占放送権・配信権獲得（※地上波を除く）

【権利内容】 ・全試合（9試合×34節）／プレビュー番組・ハイライト番組

・スーパーカップ（ブンデスリーガとドイツカップの王者が対戦）、1部・2部の入替戦

ブンデスリーガの魅力をあますことなく、テレビの大画面はもちろんのこと、
スマートフォンやタブレットなどモバイル端末でもお楽しみいただけます。

コンテンツの差別化②

■サッカー (国内)



写真: 松岡健三郎/アフロ

『2017 Jリーグ YBCルヴァンカップ ノックアウトステージ』

スカサカ！他 8/30(水)～準決勝まで全試合生中継！決勝は録画放送

■音楽 オリジナル



『スカパー！サマーフェス 2017 powered by FULL CHORUS アイドルだらけの夏祭り／“うた”“踊る”夏の陣』

BSスカパー！ 8/26(土)・27(日)後6:30～

■ドラマ オリジナル



©渡辺航(週刊少年チャンピオン)2008/スカパー！・東宝・舞会「弱虫ペダル」製作委員会

『弱虫ペダルSeason2』

BSスカパー！ 8/18(金)～毎週(金)放送 ※全13話(前編7話+後編6話)

■時代劇 オリジナル



『スカパー！×時代劇専門チャンネル 藤沢周平 新ドラマシリーズ第2弾！「橋ものがたり」3部作』

BSスカパー！ 9/18(月・祝)『小さな橋で』、10月放送『吹く風は秋』『小ぬか雨』

4K対応プレミアムサービスチューナー

プレミアムサービス最上位モデル 2017年7月20日より販売、レンタル受付開始

4K対応プレミアムサービスチューナー（※衛星・光サービスいずれも対応）

TZ-WR4KP（パナソニック製）

販売価格：29,800円(税込)／レンタル料金：月額972円(税込)



■特徴・対応機能

- ① プレミアムサービス4Kチャンネル視聴、ダブルチューナー搭載
- ② リモート視聴・チャンネル録画、4K HDR(予定)
- ③ 放送連携IP配信サービス(2018年度予定)

■今後の4K番組

8/12(土)後5:45～

スカパー！4K総合でプロ野球生中継

『J SPORTS STADIUM 2017 広島×巨人』



スカパー・ブロードキャスティング所有の
4K HDR中継車「SR-1」を使用

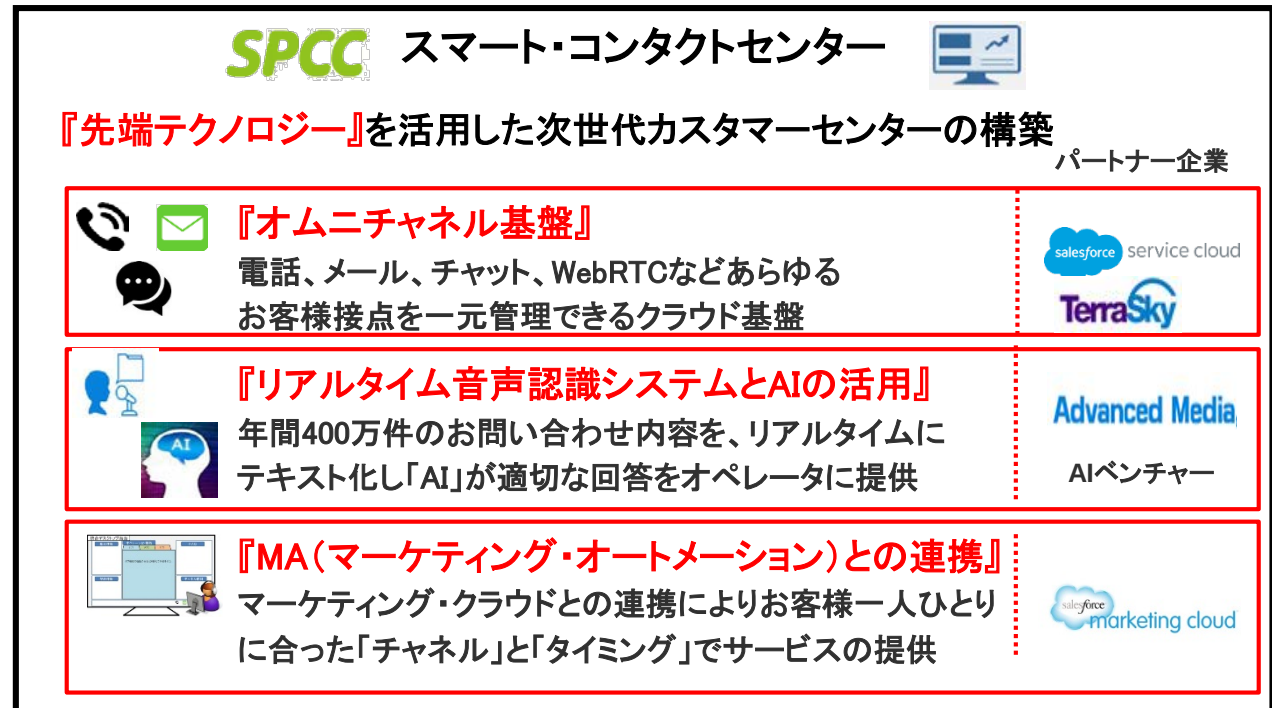
SPCCスマート・コンタクトセンター構築およびコールセンター外販

多様化するお客様の要望に対応するスマート・コンタクトセンターを2017年度中に構築

変化し続ける
お客様接点での利便性の向上

お客様行動履歴の把握

お客様満足度の向上



- ARPU向上、解約率の低下
- グループ外企業へスマート・コンタクトセンターサービスの販売展開

今後の取り組み
～宇宙・衛星事業～

JCSAT-17の概要

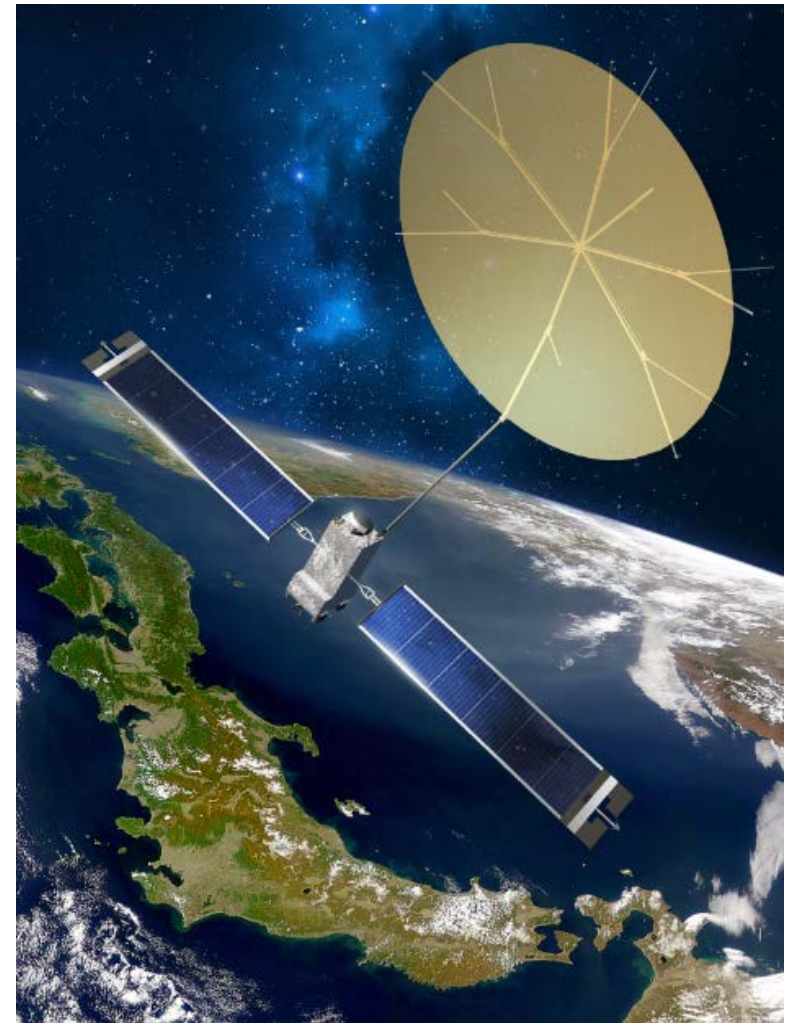
- 移動体通信用Sバンド及びCバンドを搭載し、IRU契約※の下、株式会社NTTドコモ殿が利用予定。
- 18mの大型アンテナを搭載し、小径のマルチビームによりエリアを構成。

JCSAT-17 概要

- 軌道位置 …東経136度
- 周波数帯域 …Sバンド、Cバンド、Kuバンド
- 主要カバレッジ …日本及び周辺海域
- 衛星寿命 …15 年以上
- 打上予定時期 …2019年度下期

※IRU (indefeasible right of user)

関係当事者の合意がない限り破棄又は終了させることができない
長期安定的な使用权のこと。



credit: Lockheed Martin

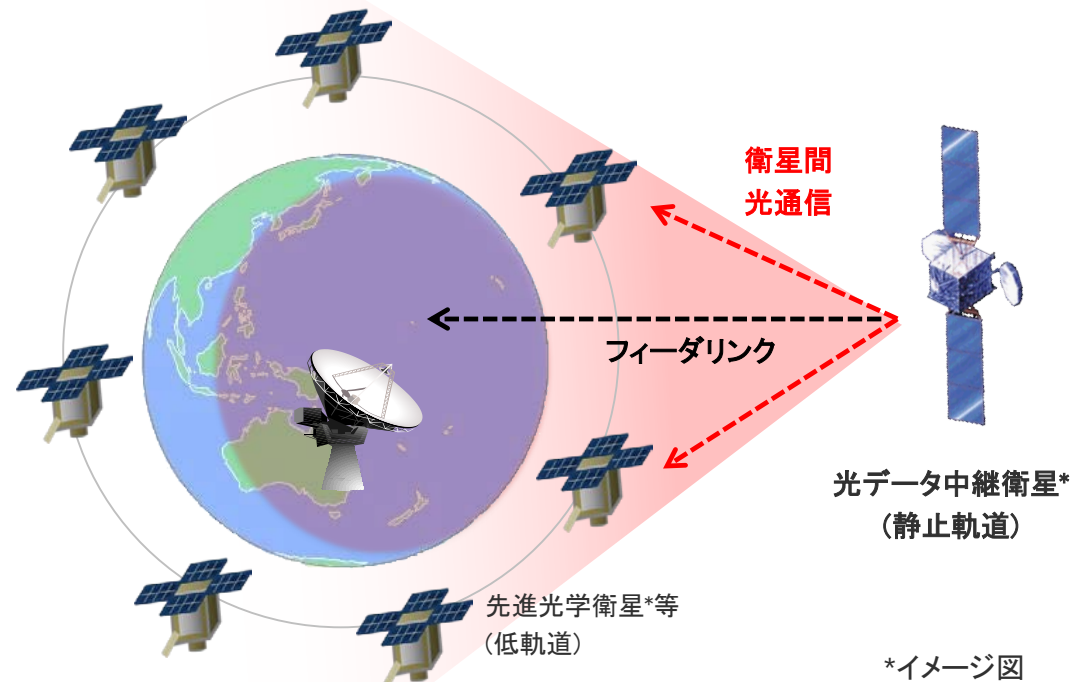
「JCSAT-17」衛星 イメージ図

光データ中継衛星バス運用業務受託

- 国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)殿が開発を進めている光データ中継衛星について、衛星バスの準備期間を含めた運用・維持管理にかかる業務を受注。
- 光データ中継衛星は、光通信を用いることで従来と比べデータ速度が向上し、地球観測衛星等で取得する画像データの大容量化に対応。

<スケジュール>

- 打上予定時期 … 2019年度
- 運用準備期間 … 2017年度～2019年度
- 運用期間 … 2020年度～2034年度

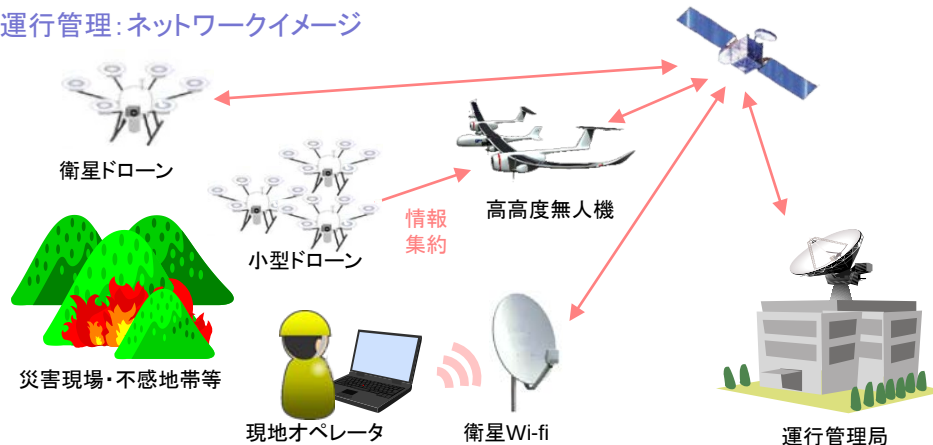


「ロボット・ドローンが活躍する省エネルギー社会の実現プロジェクト」への参画

■国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)殿が手掛ける 「ロボット・ドローンが活躍する省エネルギー社会の実現プロジェクト」へ参画

研究テーマ	衛星通信を利用する ドローンの運航管理システムの開発	特殊環境下における 連続稼働等が可能な機体の研究開発
実施主体	スカパーJSAT	エンルート
連携機関	国立研究開発法人宇宙航空研究開発機(JAXA) 国立研究開発法人情報通信研究機構(NICT) 東海大学	さいたま市消防局 埼玉大学 株式会社先端力学シミュレーション研究所 等
実施期間	2017年5月～2019年度末	

運行管理:ネットワークイメージ



特殊環境(火災・降雨・強風等)イメージ



ドローンフィールドとスクールの開設

enRoute

SNET
Satellite Network, Inc.

- 2017年5月、エンルート社は千葉県東金市に「エンルート・ドローンフィールド東金」を開設し、ドローンスクール「E.R.T.S.(アーツ)」を開校。
- E.R.T.S.は、国土交通省より無人航空機の講習団体として認定。
技能認定試験の合格者は、国から飛行許可を受ける際手続きの一部が省略可能。



ドローンフィールド：2017年5月オープニングセレモニー時



Kymeta社との事業提携

■Kymeta社との事業提携及び国内デモ実施

- 2017年3月、米Kymeta社と戦略的業務提携し出資を実行。同社は、新しい衛星追尾技術を用いた薄型の平面アンテナを開発。
- 2017年9月、アンテナを実装した自動車による国内走行デモンストレーションを計画。



Kymetaアンテナ(車両実装前): 2017年6月YSCC試験時



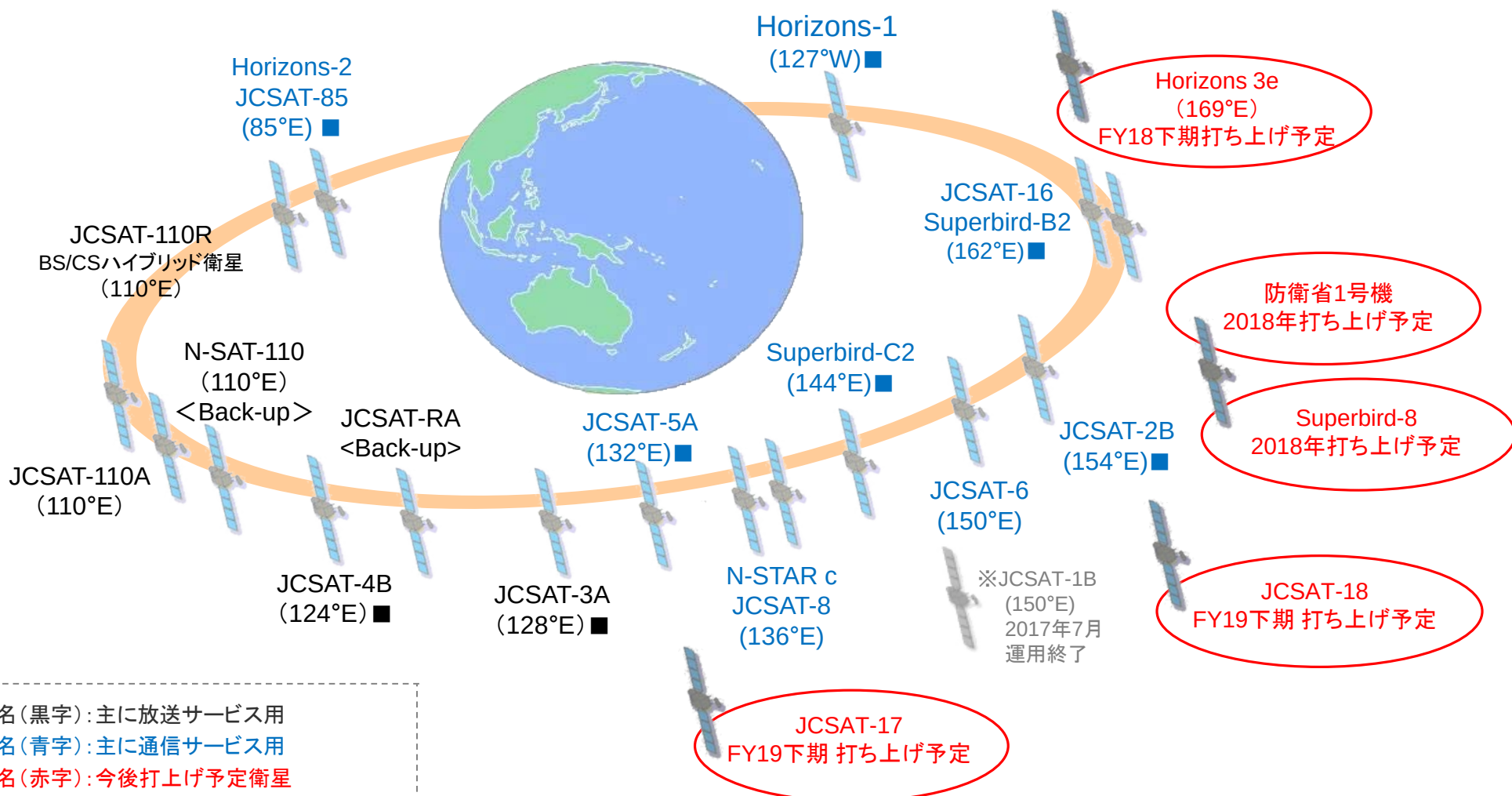
2016年に米国で行われた通信試験車輛

打上げ予定衛星一覧

	防衛省PFI事業1号機	Superbird-8	Horizons 3e (HTS衛星)
衛星バス	DS2000	DS2000	702MP
製造メーカー	三菱電機	三菱電機	Boeing
ロケット	Ariane5	Ariane5	Ariane5
打上時期	2018年 3月～5月	2018年 3月～5月	2018年度下期予定
軌道位置	-	東経162度	東経169度
衛星寿命	15年以上	15年以上	15年以上
目的	防衛省PFI事業用衛星	Superbird-B2後継機(国内)	海外・モバイル(Intelsat共同衛星)

	JCSAT-17	JCSAT-18(HTS衛星)
衛星バス	A2100	702MP
製造メーカー	Lockheed Martin	Boeing
ロケット	Ariane5	TBD
打上時期	2019年度下期予定	2019年度下期予定
軌道位置	東経136度	TBD
衛星寿命	15年以上	15年以上
目的	国内通信提供	海外・モバイル

北米上空からインド洋上空まで計**17**機の衛星を保有



衛星名(黒字): 主に放送サービス用

衛星名(青字): 主に通信サービス用

衛星名(赤字): 今後打ち上げ予定衛星

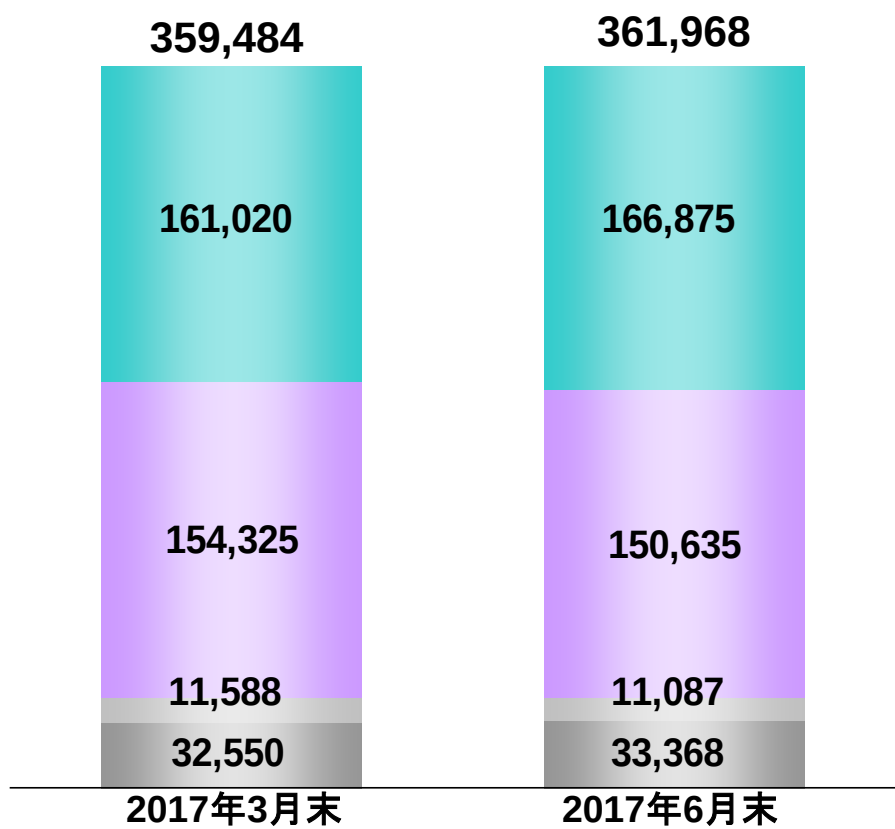
■: グローバルビーム搭載衛星(含む可動ビーム)

(参考資料)

連結貸借対照表

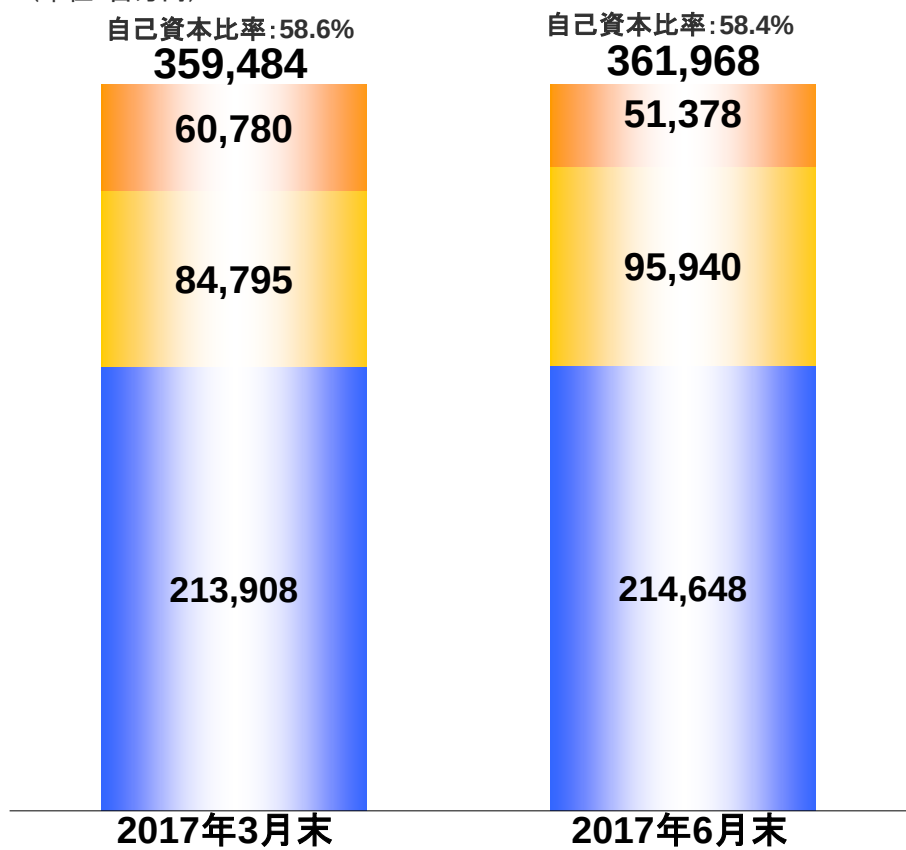
資 産

(単位: 百万円)



負債・純資産

(単位: 百万円)



流動資産 有形固定資産 無形固定資産 投資その他資産 流動負債 固定負債 純資産

連結キャッシュ・フロー

(単位: 百万円)

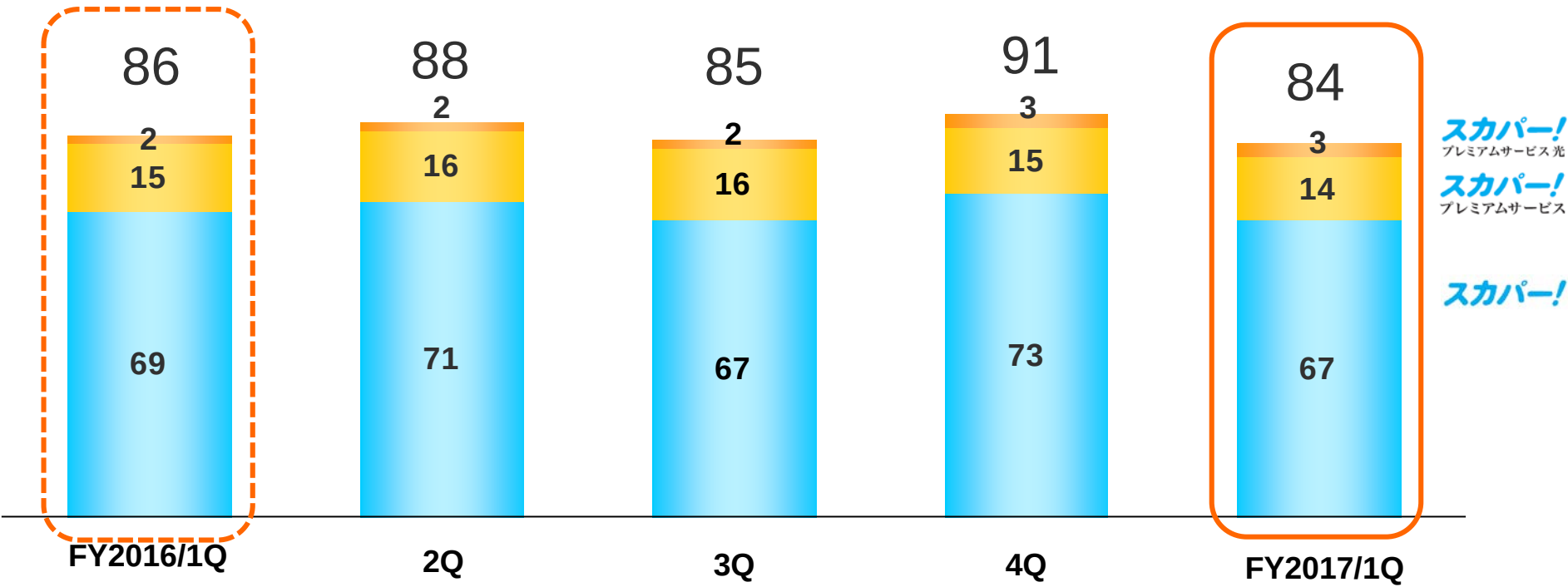
	FY2016/1Q 累計	FY2017/1Q 累計
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,199	11,892
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,905	△4,845
フリー・キャッシュフロー (*1)	△705	7,046
財務活動によるキャッシュ・フロー	△919	3,966
現金及び現金同等物の期末残高(a)	46,854	57,118
有利子負債期末残高 (*2) (b)	65,323	89,649
純有利子負債期末残高 (b)－(a)	18,468	32,530

*1. 営業活動によるキャッシュフロー＋投資活動によるキャッシュフロー

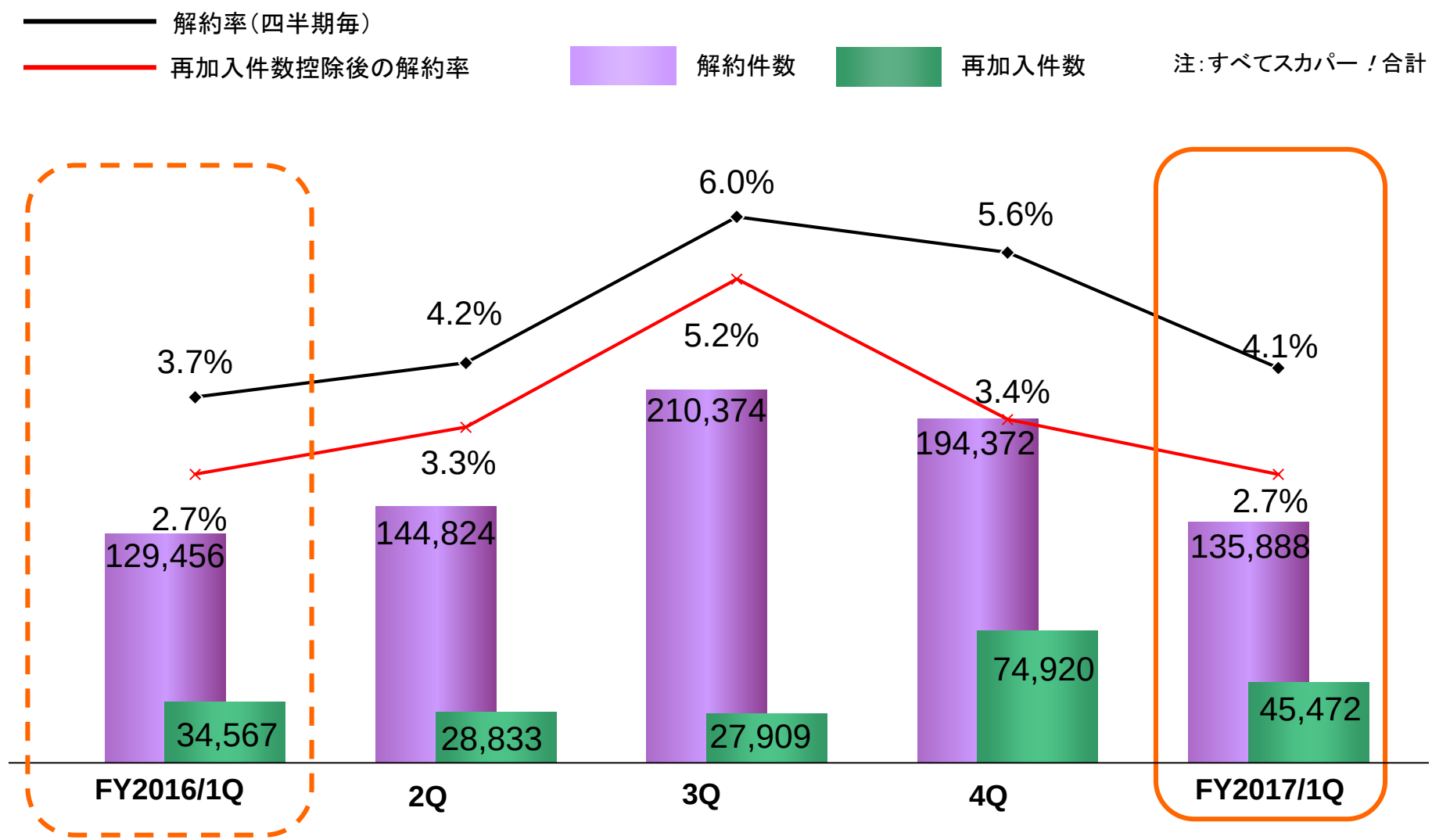
*2. 借入金＋無担保社債

新規加入件数の推移

(単位:千件)

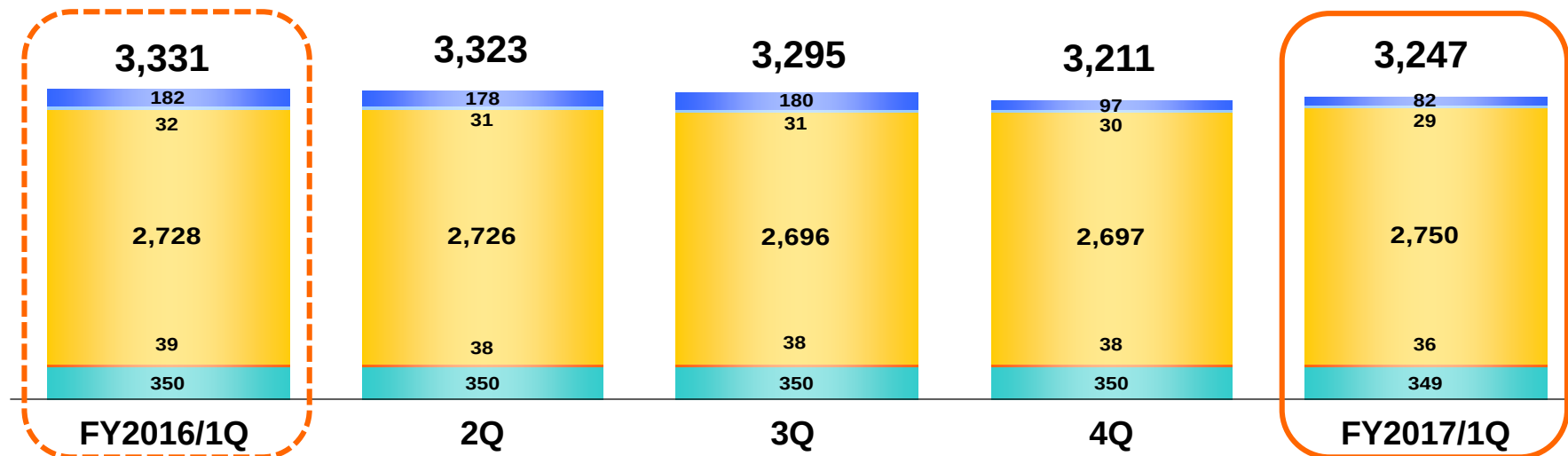


解約率の推移

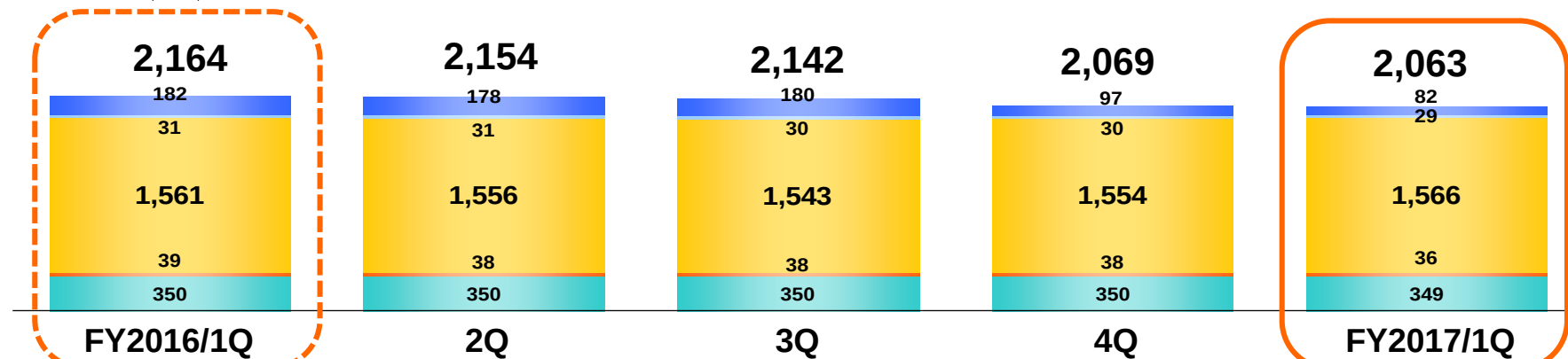


各四半期の解約件数合計を前年度末の累計加入件数で除した率を表示しております。

■ 加入者支払単価(¥) (*1)



■ ARPU(¥) (*2)



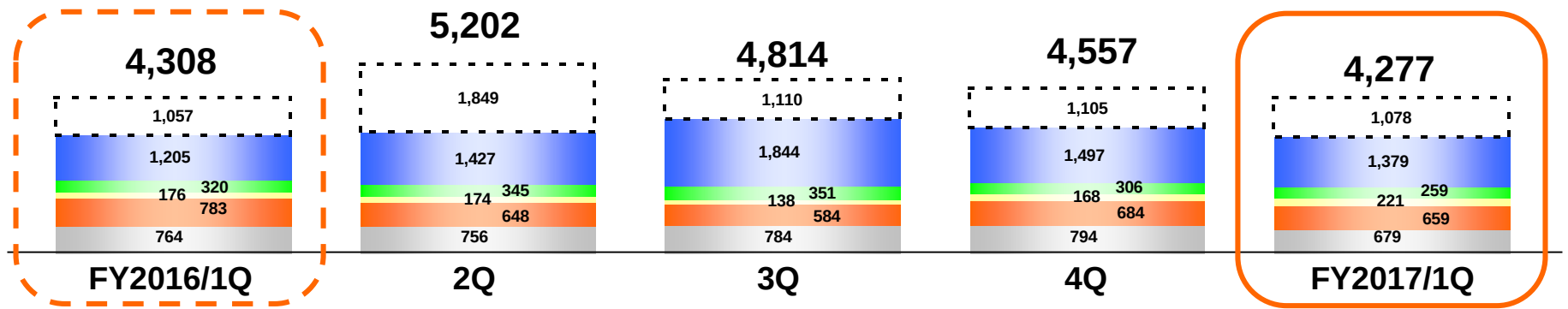
■ 基本料／件
 ■ レンタル会費／件
 ■ フラット視聴料／件
 ■ PPV視聴料／件
 ■ 自主コンテンツ収入／件

*1. 加入者が支払う月額視聴料等の平均単価

*2. 加入者が支払う月額視聴料等の平均単価の内、当社グループの営業収益として計上する金額

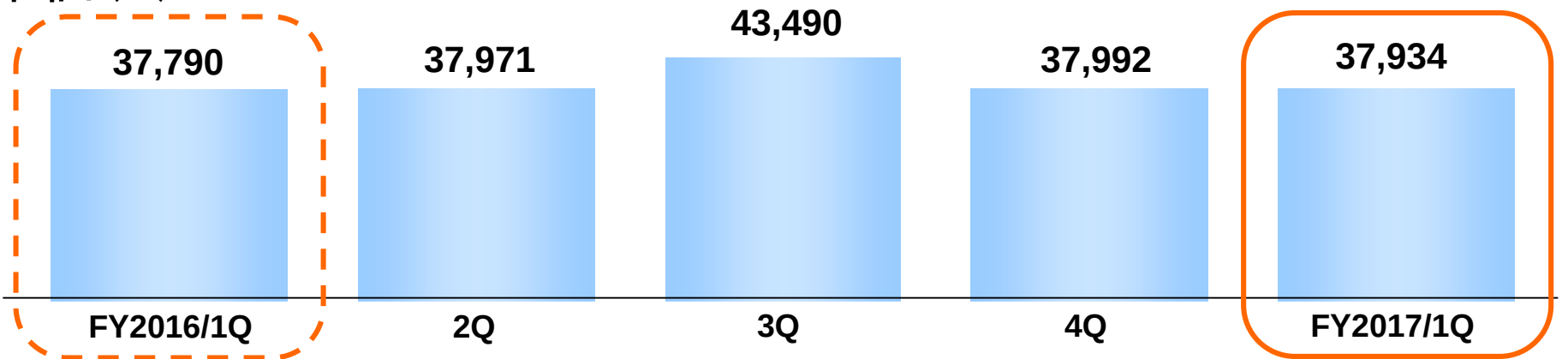
顧客獲得費用(SAC)

■ 総額(百万円)



■ 広告宣伝費 ■ 販売促進費 ■ 販売インセンティブ ■ ユーザーキャンペーン (*1) ■ その他 ■ 無料コンテンツ費 (*2)

■ 単価(¥) (*3)



*1. 各種顧客獲得キャンペーンに係る費用
*2. 「無料コンテンツ費」は、BSスカパー！の番組制作費等を含む。
*3. SAC単価は、SAC総額(ただし「無料コンテンツ費」は除く)を対象期間の新規加入件数で割った数値

株式会社スカパーJSATホールディングス
広報・IR部